

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書																																																																																																																																										
■ 〇 1 一 般 共 通 事 項					■ 〇 3 機 器 取 付 高 さ					■ 〇 6 工 事 区 分					■ 〇 8 メ ー カ ー リ ス ト																																																																																																																											
総 則	本工事は本特記仕様書並びに設計図書に準拠し、公共建築工事標準仕様書、最新年度版「電気設備工事編」と日本電気協会「内線規程」「高圧受電設備規定」を準用し施工すること。尚、本特記仕様書に於ける提出図書及び計画書、報告書等は工事管理者から工事監理者へ提出するものとする。				取付高さ	機 器 名 称		取付高さ (mm)	備 考	工事区分 該当する区別欄に●印を記入のこと	工 事 項 目		区 分	備 考	機器及び材料	製 造 業 者 名 下記または同等品以上とする																																																																																																																										
	井筒		積算電力量計	地上+2000		盤上端	1	鉄骨梁の貫通スリーブ	建築		機械	電気	別途	電線・ケーブル		住電日立ケーブル、矢崎エナジーシステム、昭和電線ケーブルシステム、古河電気工業、フジクラ、三菱電線工業、西日本電線、タツタ電線																																																																																																																										
製作図及び施工図	制作又は施工上必要な図面は遅滞なく作成し、工事監理者の確認を受けること。				電力	引込開閉器盤		地上+1800	盤上端	2	R C 梁の貫通スリーブ				電線管（鋼製）	パナソニック																																																																																																																										
	配分電盤		地上+1800	盤上端		3	スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強					補強材を建築が用意し設備が施工	電線管（樹脂製他）	パナソニック、古河電気工業、未来工業、クボタシーアイ、日動電気																																																																																																																												
各種申請	本工事に伴う関係法規上の申請手続を関係官公署及び電力会社に遅滞なく行うこと。				動力	警報盤		床上+1800	盤上端	4	躯体壁・床の穴明及び構造体補強				電気用	パナソニック、ネグロス電気、未来工業、クボタシーアイ、日動電気、																																																																																																																										
	20ボルト・電線750V以下・直列20ヶ所等（一般）		床上+ 300	ボックス中心		5	重量設備機器のための床構造補強					特殊仕上材の穴明及び下地補強	ALC・PC板大理石、テラゾー等	ケーブルラック		ネグロス電気																																																																																																																										
施 工	施工上の納まりや取合の関係で、機器及び材料の取付位置又は取付工法について止むを得ず行う軽微な変更は、工事監理者と協議する。尚、この場合、請負金の増減は行わない。又、本特記仕様書及び設計図書に記載なきものであっても、施工上又は法規上必然となるものについては、請負金の増減を行わず施工するものとする。				電話	20ボルト・電線750V以下・直列20ヶ所等（配電）		床上+ 150	ボックス中心	6	天井穴明及び下地補強		●		器具既製品は電気工事配管配線のみ電気工事旋、新開盤、結線等は建築工事	パナソニック																																																																																																																										
	20ボルト・電線750V以下・直列20ヶ所等（地上）		床上+ 200	ボックス中心		7	照明ボックス・ルーバー					照明器具	パナソニック、三菱電機照明、コイズミ照明、岩崎電気、東芝ライテック、大光電機																																																																																																																													
材料及び試験	本工事に使用する機器・材料・製品のうち、設計図書に記載のあるものについては、その成績表を工事監理者に提出し、又は工事監理者の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。				伝真	スイッチ類		床上+1300	ボックス中心	10	電気錠及び通電金具				受配電盤・キュービクル	河村電器産業																																																																																																																										
	手元開閉器		床上+1500	ボックス中心		12	設備機器囲壁（フェンス等）					分電盤・制御盤	河村電器産業																																																																																																																													
引渡図書	本工事に伴う引渡図書は、下記に定めるもののほかは、工事監理者の指示による。				出入線	端子盤		床上+1800	盤上端	13	シャフト最上部の立上げ雨仕舞				変圧器	東芝																																																																																																																										
	音量調節器		床上+1300	ボックス中心		14	屋上配管取出口（ハト小屋）					高圧進相コンデンサ・直列リアクトル	ニチコン																																																																																																																													
引 渡 し	■ 引 渡 図 書				インターホン・電話	音量調節器		床上+1300	ボックス中心	20	機械室・電気室内配線用ビット				緑金物共	エナジーサポート																																																																																																																										
	● 竣工図		2	施工提出用 1 部		18	同上 フタ					電磁開閉器・開閉制御装置	三菱電機、富士電機機器制御																																																																																																																													
	● 納入機器完成図		2	施工提出用 1 部			19	各種配管塗装			●			計器類		三菱電機、東芝、大崎電気工業、富士電機機器制御																																																																																																																										
	● 諸屋又は申請副本		2	施工提出用 1 部				21	各部ガラリ							自家用発電装置	西日本発電機																																																																																																																									
	● 官公署の検査済書又は検査合格書		2	施工提出用 1 部					22		換気扇及びフード（取付枠共）							放送機器・情報設備 放注共聴機器	T O A																																																																																																																							
	● 施工業者及び機器納入者一覧表		2	施工提出用 1 部							23		同上 開口補強工事							有圧扇電源プラグ	D X アンテナ																																																																																																																					
	● 機器保証書		2	施工提出用 1 部									24				同上 開口補強工事					換気扇温度スイッチ	アイホン																																																																																																																			
	● 試験成績表		2	施工提出用 1 部													25		同上 接続工事					全熱交換器スイッチ	自動火災報知機器 防火防煙制御機器																																																																																																																	
	● 機器取扱説明書		2	施工提出用 1 部															26		設備機器の制御及び二次側配線工事					ポンプ 冷凍機など	能美防災																																																																																																															
	● 緊急連絡先一覧表		2	施工提出用 1 部																	27		同上 接続工事					消火器	ヤマトプロテック、能美防災、宮田工業																																																																																																													
	● その他（ 施工写真 ）		1																				29		空調用屋内外機器間の配管配線工事		●			30	同上機器への接続工事		●		31	自動制御機器及び電気配管・配線工事		2 次側共 インターホン 又はベル	32	オイルタンク給油用連絡装置				33	電極棒及びフロートスイッチ				34	同上配管配線接続工事				35	生産設備機器への電源配線・配管工事				36	同上 接続工事				37	エレベーター非常用インターホンの配管配線工事		シャフト外の 配管配線工事 E L V 工事	38	同上機器取付及び接続工事				39	電動シャッター及び自動扉操作盤への供給電源				40	同上操作盤、制御配管配線工事（水圧開放装置含む）		押ボタン共	41	自火報・消火栓併設総合盤の穴明				42	スプリンクラー用アラーム弁の電気配管、配線工事				43	ハロゲン、二酸化炭素、泡消火設備の警報、音響装置				44	煙感知器連動用、シャッター、ダンパー、防煙たれ壁		電気錠共	45	同上用煙感知器・制御盤及び配管配線工事		配管・配線共	46	消火器（A B C 1 0 型× 本）		□ 印	47	避難器具		≡ 印	48					49					50					51					52					
	● 耐震クラス S 対応		耐震クラス A・B 対応	対応除外の条件																					上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける		次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線	中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける		通常の施工方法による	特定天井			3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。			電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項			御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																			
■ 〇 2 使 用 配 管 ・ 配 線 材				■ 〇 4 耐 震 仕 様						■ 〇 7 特 記 補 足 事 項 ・ 打 合 せ 事 項					■ 〇 9 凡 例																																																																																																																											
電 線 管	打 込 み	隠 ベ イ	屋 内 露 出	屋 外 露 出	地 中	耐震クラス S 対応				耐震クラス A・B 対応		対応除外の条件			1. 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」（日本建築センター）による耐震措置を、当該建物の用途・重要度等に応じて実施する。（●告示1388号 ○耐震クラスB ○耐震クラスA ○耐震クラスS）ただし防災対策上重要な下記の重要機器は、耐震クラス（OS ○A）とする。 ○配電盤 ○発電装置 ○直流電源装置 ○UPS ○自火報受信機 ○その他（ ）										2. 電気配管・ラック等の耐震支持は、地震時の設計用水平風速、および設計用鉛直風速に応じた地震力に耐えるよう、以下の適用する種類にて行う。 （●告示1388号 ○B種 ○A種、種X S		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項			御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）		別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																																
	薄鋼電線管（C P 管）				●										上層階、地下1階										電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける		次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線		中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	通常の施工方法による		特定天井		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。			■ 〇 5 共 通 事 項		御支給品 指定機器・材料			●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																					
厚鋼電線管（G P 管）				●								上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける	電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線									中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける		通常の施工方法による		特定天井		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり			照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項		御支給品 指定機器・材料			●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																										
ねじなし電線管（E P 管）			●							上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線	中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける							通常の施工方法による		特定天井		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。			■ 〇 5 共 通 事 項		御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																															
耐衝撃性硬質塩化ビニル電線管（H I V 管）			●		●					上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線	中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける		通常の施工方法による					特定天井		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項			御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）		別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																																
合成樹脂製可とう電線管（C D 管）	●									上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける	電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線	中間階			電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける		通常の施工方法による		特定天井			3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項		御支給品 指定機器・材料			●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする			● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																																		
合成樹脂製可とう電線管（P F 管）		●								上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける	電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線	中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	通常の施工方法による		特定天井		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。			電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項		御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																																						
液付硬質合成樹脂電線管（F E P 管）					●					上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける	電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線	中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	通常の施工方法による	特定天井			3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。			■ 〇 5 共 通 事 項		御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																																						
φ15mm以下鋼管（P E 管）				●						上層階、地下1階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 S 種を設ける	電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	次のいずれかに該当する場合は耐震支持を省略できる。 (i) φ 82 以下の単独配管 (ii) 延長 80cm 以下の電気配線 (iii) 定格電流 600A 以下のケーブル (iv) 市材長さが平均 30cm 以下の電気配線	中間階		電気配線の支持間隔約12m以内に1箇所 A 種または B 種を設ける	通常の施工方法による	特定天井		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり			照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項			御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																																						
色 別	■ 電 線				屋内隠蔽	屋内管路	屋内露出	屋外管路	屋外露出	地中管路	1. 建築基準法施行令第129条の2の5、1項7号イに該当する防火区画を貫通する管は貫通前後1mを不燃材料で作るか又は建設省告示1422号の基準によること。 この部分に用いる被覆材はロックウール保温材等不燃性のものを用いる。 2. 電線・ケーブルまたは可燃性の配管の防火区画の貫通部は、建築基準法令に適合する工法、又は国土交通大臣認定工法による。		2. 電線・ケーブルまたは可燃性の配管の防火区画の貫通部は、建築基準法令に適合する工法、又は国土交通大臣認定工法による。		3. 国交省告示第771号で定める特定天井に該当する天井部分があり、かつ設備工事が当該天井に關わる場合、以下に留意する。 ○特定天井なし ○特定天井あり		照明器具等は原則、天井下地材にボルトナットにて取り付ける（天井の単位面積質量は20kg/m ² 以下が前提）。ダウンライトやスピーカーなど、軽量でボルト取付けが出来ないものは、ワイヤー等による脱落防止措置を行う。		電気配管・ケーブルラック等は、構造耐力上主要な部分より支持する。その支持方法は、A 種および A 種の耐震支持の種類に適合した支持を行う。 なお詳細は、「特定天井の規定運用に関する対応」2014/01/23（連絡）参照。		■ 〇 5 共 通 事 項		御支給品 指定機器・材料		●なし ○あり（ ） ●なし ○あり（ ） ●不要 ○必要（○耐塩害仕様 ○耐重塩害対策仕様） ●不要 ○必要（ ） ●不要 ○必要（ ）	別途工事 ●印をつけたものを別途工事とする		● 電力負担金 ● 電話局線引込工事並びに施設設置負担金、加入金 ○ 電話機器及び配線取付工事 ● 電波障害補償等の公害対策費 ○ 保安協会・主任技術者協会等による経済産業局手続申請費用																																																																																																														
	■ 電 圧 種 別				■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側		■ 電 圧 側</													